

周年イベント

石見神楽熱演一

町長行政報告

町長 大石 弘秋



島根石見神楽

旭日小綬章受章

春の叙勲は、前町長、藤崎富士登氏が、旭日小綬章を受章。

昭和38年、吾川村議に当選以来6期23年9カ月在職のうち、6年4カ月議長のを職を努めた。

また昭和62年から5期18年3カ月吾川村長として、高知県町村会長や全国町村会常任理事を歴任。17年の3町村合併時に初代町長に就任し、仁淀川町発展の基礎づくりに尽力した。



藤崎富士登氏

旭日単光章受章

3月には旧仁淀村議員の若藤輝利氏が旭日単光章を受章。3期12年の地方自治に貢献した功績が認められたもので、今後とも両氏には、健康で地域社会のために尽力いただきたい。



若藤 輝利氏

イベント

5月15日、池川神社で町制5周年イベント「地域の宝、仁淀川町の神楽、伝統文化」と題し、神楽や踊りの共演、町内11団体による地場産品の売り出し、8団体による伝統の舞が約千人の観客を魅了した。今後も町のPRと地域の活性化を図っていく。

【参加した団体】

秋葉まつり
池川神楽
石見神楽
狩山豊年踊り
椿山太鼓踊り
名野川警門神楽
都太鼓踊り
安居神楽

ゴミ収集

ゴミ収集は、4月から委託業者が変わり、収集計画も変更し心配したが、各地区を一通り終了。苦情などはなく順調である。

子ども手当

4月から始まった子ども手当は、6月4日に支給。4、5月の対象児童数は939人、金額は1220万7千円。

凍霜害

3月下旬の冷え込みで町内全域に凍霜の被害が発生した。

コスモス農協の実績で生葉、対前年比26・6%減の18万7854kg、販売高24・1%減の1億7百万円余りとなった。

特に仁淀地域は、33・9%の生葉減と被害が大きく、耕作放棄地の拡大に拍車がかからないか危惧している。



5周年イベント餅投げ

町政 5

— 島根

商品券

昨年、好評だった地域流通商品券を今年も発行。額面1割引の価格で5千万円分を6月27日から6日間販売予定。

協力隊

総務省が地域力の創造と地方の再生を目的に「地域おこし協力隊」事業をしており、本町も地域の課題解消、活性化の助けに、9月から3年間、嘱託職員として3人の受け入れを計画している。

ゆの森

地域活性化、公共投資臨時交付金を活用し、ゆの森横の旧日浦邸を取り壊し、観光拠点として多目的施設を計画している。現在、裏手山側の防災工事をし、施設は9月着工を目指す。地元観光関係団体と設計協議をしている。

リフォーム

昨年9月からの町産材の家推進事業は、今年度からリフォームへの補助を追加し、問い合わせが増加した。

申請状況は新築1件、リフォーム5件で、町産材の需要拡大、定住促進につながればと考える。

診療所

大崎診療所医師住宅新築工事は、実施設計書を作成しており、3棟の建築は工期もかかることから、7月発注、年内完成を目指す。

町税

21年度町税の収納状況は、前年比2700万円減の5億7200万円。法人住民税の大幅な減少、個人所得の減少、タバコの消費減少の影響。

現年度徴収率は99・4%で、町税全体では98・4%で昨年は0・2%下回っている。

ソニア

4月6日、関係3首長、議長他各2議員、県、森林組合、民間事業有識者4人の合計13人でソニア再生検討委員会を立ち上げ、内部に専門部会を置き、今後の運営形態を検討してきたが、各町、各委員の考え方にずれがあり、方向性の合意形成に至ることができていない。各町村の基本的な考え方を整理確認するよう調整しており、早期に方向性を決めたい。

